

令和4年度栃木県衛生管理者協議会総会・研修会が開催されました。

令和4年7月8日(金)に栃木県建設産業会館において、会員72社(委任状を含む)出席の下、栃木県衛生管理者協議会令和4年度定期総会及び研修会が開催されました。

総会では、大平会長のあいさつに続き会長を議長として議事に移り、今年度の活動方針等提案した議案がすべて承認されました。議事終了後、来賓の栃木労働局労働基準部健康安全課の野澤卓也課長から祝辞に併せて、今年度の栃木労働局の安全衛生対策方針についての説明があり、県内で急増する労働災害の現状や熱中症対策、メンタルヘルスの確保等、労働災害と職業性疾病防止への一層の協力要請がありました。

総会終了後に行われた今年度の研修会では、昨年7月に厚生労働省から「職場における化学物質等の管理の有り方に関する検討会報告」に関する報告書発表以降、関連法の改正が続くなど、化学物質政策の大幅な方針転換を受けて、「今後の化学物質管理の動向等について」と題し、栃木産業保健総合支援センター相談員でオクペイショナルハイジニスト(IOHA 認定)の宮田昌浩氏より2時間に亘り資料とスライドを基に詳細なご説明、解説をいただきました。

約60名の出席者は各職場の化学物質管理をはじめとする衛生管理を担っている責任者の方々ばかりであり、終始熱心に聴講されていました。

事務局では、今後も研修会の実施に当たって、時宜を得た内容を企画して実施して参りますので、ご支援のほど宜しくお願いいたします。

なお、昨年度からあらたに栃木県労働基準協会連合会のホームページ内に、栃木県衛生管理者協議会の情報サイトを設け、随時、活動状況報告や法改正資料の掲載等、情報提供を行っておりますのでご活用下さい。

(事務局：(一社) 栃木県労働基準協会連合会
専務理事 堀澤 俊孝)